

ここからの日本政治

朝日新聞社政治部長
松田京平



- * 政治記者の役割について
- * 三頭政治中心の党運営
- * 改造人事の焦点だった茂木氏対策
- * 歴代首相同様に目指すは長期政権か
- * 注目度高い10月下旬の補欠選挙
- * 危機管理、調整能力に弱点
- * 霞が関の官僚が主導する政権
- * 衆議院の解散時期を探る
- * 日本維新の会の動向が焦点に
- * “老老男男”の打破がポイント

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、朝日新聞政治部長の松田京平さんに来ていただきました。これまで比較的ベテランの政治評論家の方のお話を何回か聞いていたのだと思うんですが、松田さんはまさに政治報道の現場でたくさんの記者を束ねて日々奮闘していらっしゃる方です。

今回は、皆さんご承知のとおり、第2次岸田第2次改造内閣が発足いたしましたして、自民党内の役員人事も替わりましたので、われわれとしては非常にタイミングのいいところで来ていただけたと思いますが、今週たいへんお忙しくて、その中を縫って来ていただきました。どうもありがとうございます。

松田 京平
松田さんは、ご案内のとおり北海道大学の法

学部を卒業されて朝日新聞に入社されました。政治部に長くお勤めになって今日に至っているわけですが、地方自治にもたいへんお詳しくて、宮崎支局、盛岡総局、千葉総局長など地方の経験もたいへん豊富でいらっしゃいます。本日は、内閣、自民党新体制になりましたので、その意味を読み解いていただいて、それから、今後の展望も伺えたらと思います。皆さんからも後でまたいろいろご質問もあると思いますけれども、今日はどうぞよろしく願います。

先生、よろしく願います。（拍手）

政治記者の役割について

松田 皆さんこんにちは。朝日新聞政治部長